

山 郷

Yamazato

南関町 [熊本県]
議会だより

第8号 | [12月定例会号]
平成20年2月15日

1年生がはいちーズ!!



たかっほ下駄づくり



じいちゃんといっしょに竹細工



1月20日にB&Gであった南関第一小学校のふれあい祭り

contents

減額しました! 町のサイフ 

02

ここを問う! 議案審議

03

あなたの声を 町政 に! 一般質問のやりとり報告

04

あれからどうなった!? うから館

11



平成19年度第8回定例会

12月定例会は18日から20日までの3日間の会期で開催されました。今回は歳入歳出をそれぞれ2,745万9千円減額する一般会計補正予算をはじめ、うから館の指定管理者の指定や条件付き一般競争入札で実施した工事請負契約締結など10件が上程され、すべて原案どおり可決しました。

2745万9千円を減額

総額53億6,165万円

項目別歳出補正後の予算額		 民生費 12億1,296万円	 総務費 5億9,390万円	 議会費 7,535万円
		 商工費 3億8,210万円	 農林水産業費 7億7,987万円	 衛生費 3億4,893万円
		 教育費 3億6,765万円	 消防費 2億196万円	 土木費 6億6,502万円
		 予備費 1,309万円	 公債費 7億576万円	
項目別歳入補正後の予算額		 財産収入 706万円	 県支出金 2億3,640万円	 国庫支出金 2億5,656万円
		 諸収入 5億8,856万円	 繰入金 3億3,652万円	 寄付金 5万1千円
		特別会計予算		 町債 5億300万円
		介護保険事業……………10億7,276万円 公共下水道事業……………2億5,675万円		

◎歳入歳出とも2,745万円の減額、総額53億6,165万円になりました。

こしを問う

議案審議

主なものを掲載

一 国民健康保険税 条例の一部改正

Q 松村公正議員
特別徴収の徴収方法は、どうなっているか。
A 住民課長
支給日ごと年6回、それで特別徴収をしたいということ。

一 指定管理者の指定

Q 酒見喬議員
うから館が赤字になった場合、公金の負担を求められたらどうするか。
A 町長
現在はいくから館が指定管理者で、補てんをお願いしているが、今後の赤字は運用面であれば当然指定管理者自らが補てんできなくてはならないと思う。しかし財産はあくまでも町のもの。財産に

ついては条例で決められた範囲内ですべき。
Q 酒見喬議員
現在は赤字を町が補てんして、次の指定管理者は補てんしないということ、町も補てんを認めなくてはならないような事態が心配されるがどうか。
A 町長
現在の指定管理者はあくまで町長が住民の代表として指定管理者になっている。したがって当然住民の負担に頼らざるを得ない。私の個人ですべてでないと思う。4月以降は一企業として、個人ならば個人として、個人の経営努力に委ねるほかにないだろう。

ももある。おそらく指定管理者も努力はするだろうが、その中で赤字になった場合、赤字をどちらが持つかということが焦点になってくるのではないかと。その時、私は町長だから町長の立場で住民の税金を投入するのは当然、というのが通るのか。
A 町長
今度は一企業として運営されるわけで、それに町が赤字を補てんするのはいかなるものか。現在は当然、赤字は町が補うべきだ。

その後の

渇水対策工事

新幹線トンネル

久重南山付ため池工事
貯水量4,800トン



久重南山付生活用水ボーリング
3本目スタート (07.11)



宮尾地区八反島
貯水量4,300トン
2月着工



宮尾地区
貯水量12,000トン
ほぼ完成



玉名市天水町
池田建設(株)落札
9,870万円税込み
落札率95.28%







Yoshimasa Hashinaga

橋永芳政
4番議員



1月14日にあった久重のどんどや



1月12日にあった「消防出初め式」放水合戦

一般質問

一般質問は12月18、19日の2日間あり、5人が登壇しました。滞納金の回収対策や雇用促進住宅の取組をはじめ、安全・安心なまちづくり、休耕田の活用、小中学生の学力向上など町政全般にわたって執行部とよりよい南関町に向けて議論をしました。ここでは質問と答弁を要約して皆さんにお伝えします。*掲載は登壇順です。

納税相談を実施して
厳しい態度で臨む

上田数吉町長

これ以上滞納者を増やすな

橋永芳政議員

Q ①滞納金の不納欠損処理
滞納金が1億7000万円ある。その中で、830万も「不納欠損金」を出しよるが、若い者が3人も雇用できる世の中ですよ! 「財政難だ財政難だ」というよりも、こういった「滞納金欠損処理」を1円でも減らして、町民に還元していただくというのが一番。これは特定の人に還元しよると変わらん。

A 町長 9月の定例会で平成18年度決算認定をいただいているが、滞納徴収については担当課において昼夜を問わず努力をしている。1億7000万円余りの収入未済額を出している。納税者の公平・公正の面からこれまで以上に滞納徴収に努力をしなければと考えている。

Q ②鳥獣被害対策
イノシシやカラスによって多大な農作物被害を被っている。19年4月1日から周年駆除が行われ、12月末までに捕獲の努力によりイノシシは145頭捕獲されている。

A 町長 20年度から新たな国の直轄鳥獣防止総合対策事業が新設される。活用実施にあたっては、持続的で実効ある被害防止対策を行うっていくことが重要である。町をはじめ関係機関、関係団体、地域住民が一体となって取り組むことを基本に関係者の方々の連携のもとに今後、対策協議会の設立を考えている。

具体的取り組みは、被害防止に向けた啓発活動や集落等を単位とした
も手助けをすべく。
自営体制の整備をはじめ、効果的・効率的な進入防止柵の設置が被害防止対策として考えられる。今後、計画的・効率的に実施ができればと考えている。



畑の電気柵 (ソーラーシステム)



手作りの竹囲い

- 橋永芳政
- ①滞納金の不納欠損処理 ②鳥獣被害対策
- 山口純子
- ①婦人会への加入促進 ②雇用促進住宅
- 島崎英樹
- ①町の財政 ②保育園民営化
 - ③地域活性化 ④安全・安心なまちづくり
 - ⑤町職員のよりよい職場環境づくり

- 鈴木清一
- ①町の生産人口の現況
 - ②現時点での休耕田、休耕畑
 - ③中学校の通学路
- 唐杉純夫
- ①住民に信頼される行政スタイル
 - ②小中学生の学力向上

主な条例改正や請願・陳情など

- 第70号 南関町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正
- 第71号 南関町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正
- 第72号 南関町国民健康保険税条例の一部を改正
- 第78号 工事請負契約の締結 (八反島溜池改修工事)

すべて原案通り可決・採択・同意しました

委員会付託 主要地方道(県道)玉名八女線、大牟田植木線の交通安全対策についての要望書 (9月定例会継続審査分)



1番議員
島崎英樹

Hidetaki Shimasaki

受けた職員19人
今後は断じて許さない

堀幹也 副町長

職員セクハラの実態調査
結果と対応を尋ねる

島崎英樹 議員



若者が定住できる南関町に。(1月14日にうから館であった町成人式)

①町の財政
Q 平成20年度の町の財政見通しと予算編成の基
本方針を尋ねる。
A 町長 歳出は財源不足が見込まれ厳しい状況にある。行政運営の全般でさらに事務事業の徹底した見直しをする。限られた財源の重点的、効率的な配分に努める。総務課長 職員の人員費は、19年度退職者等のものが約7,000万円程度の減額見込み。また各種委員会等の委員の日額報酬を見直し、会議時間により報酬の額を変えようというところも検討している。

②保育園民営化
Q 第四保育園が20年4月からの民営化のために、19年10月1日から引き継ぎ保育がされている。第四保育園の引き継ぎ保育の状況を尋ねる。
A 福祉課長 これまで保育内容を引き継ぎ、向上させることを念頭においている。移行保育については、総じて円滑に進んでいると思う。

③地域活性化
Q 町は県に提出した南関高校単独存続に関する提案書の中で国際科の創設や半導体、自動車関連産業への就職を目指す専門コースの充
実などを求めている。この実現に向けた取り組みは、地域活性化にもつながると思う。提案実現への意欲と具体的な手立てを尋ねる。
A 町長 再編までの期間に南関高校に進学者が増えなければ厳しい状況。保護者の理解と協力を得よう努力する。

④安全・安心なまちづくり
Q ①児童生徒が関わった不審者等の発生件数と内容を尋ねる。
A 教育長 中学校では昨年度末からの約半年間にステーションワゴンを運転する3,40歳と思われる男性に4,5回程度車の中から卑猥な言葉をかけられた。子どもたち自身にも自分を守るというような気持ちを持たせるように家庭でも学校でも教育をしなくてはならない。

副町長 ハラスメント調査を一般職員146人対象に19年10月に実施。90.4%の回収率。セクハラを受けたことがあるかの質問に、あると答えたものが19人、ないと答えたものが113人。受けたことのある男女別の割合は男性6人、女性13人。内容は身体を触られた。人を馬鹿にするようなことを言われた。女性蔑視の言葉。体に関すること。酔って抱きつかれた。子どもがいけない、できないことをあからさまに指摘された。下ネタ。今後は、セクハラは断じて許さないという方針を明確化し職員に対して周知啓発する。服務に関する規定などで規制する必要性も感じている。

⑤町職員のよりよい職場環境づくり
Q 9月定例会でセクシャルハラスメントの防止を質問し、実態把握のため職員意識調査を検討したい旨の答弁があった。調査の結果、今後の対応を尋ねる。



安全・安心なまちづくりが求められる中、福祉の観点でそれらに取り組む南関町社会福祉協議会(写真は事務所)

雇用促進住宅の存続は どう考えているか

山口純子 議員

「居住者守る対応を」 雇用能力開発機構に要望書提出

上田数吉 町長



3番議員
山口純子

Junko Yamaguchi



婦人会と南関二小児童による石けん作り

①婦人会への加入促進
Q 南関町地域婦人会の会員は減少しており、現在は145人の会員数である。高齢化が進み、会の活動もできないと私は見ている。会員の加入促進について、町はどのような

②教育課長
A 現代社会は急速な少子高齢化社会、情報化・国際化の一層の進展によって地域を取り巻く環境は激しく変化をしている。地域社会における連帯・協力等の意識低下、ボランティア精神の希薄化が一段と進み、コミュニケーション形成が大変憂慮されている。昭和30年の南関町合併で統合発足した婦人会は、平成16年2月には、50年史が刊行された。長い歴史を持った団体として、地域の重要

なボランティア組織として活動されている。心から敬意を表する。婦人会は、助け合い、励まし合い、志高の熊本の心を理念として、ボランティア精神に基づき、小・中学校等への奉仕活動、青少年の健全育成、地域福祉、住民の健康増進活動、交通安全推進活動、防災活動、日赤奉仕活動、環境保全清掃活動、町の主催行事等への参加・協力、地域に密着した活動を行っている。婦人会はまちづくり、コミュニケーション形成の核、地域社会にとってはなくてはならない。会員の状況は決して好ましいことではなく、良好なコミュニケーションの創造、財政面での支援をすることを願っている。今以上に地域の安全・安心と、地域住民の連帯感の構築を図りながら女性の教養を高め、その生活を豊かにするとともに、男女共同参画社会の実現と心豊かな人づくり、地域に根ざし

た活動を推進し、町の発展に寄与してほしい。
②雇用促進住宅
Q 存続を求める署名運動が行われているが、町としてはどう考えるか。
A 町長 14年に国において特殊法人の整備合理化計画に伴い、当住宅の廃止方針が打ち出され、厚生労働省において15年に30年程度をめどに事業の廃止を閣議決定する。19年2月、事業廃止までに30年をかける考えを撤回し、15年間で雇用促進住宅を譲渡、廃止する旨の方針が決定されている。町に対して11月14日、雇用能力開発機構から来庁があり、更新の説明と雇用促進住宅の現状について説明を受けた。雇用促進住宅の存続を11月28日付で関係団体より陳情書の提出がなされている。町においては、国における前倒しの



株州本硅砂鉱業で行われている袋詰作業

譲渡、廃止の決定方針の対応と、入居者の不安を解消することがなによりも大事。機構に対し、南関宿舎の入居停止の解除及び定期借家契約の解除の申し出をとっている。町の方針については、次年度解決を目標に努力する旨伝えており、今後においても町議会、住民の理解のもと、一日も早い解決に向けて努力する。12月7日に機構の住宅譲渡部長あてに文書を提出。現段階では文書で要望している。入居者を含め地域住民署名2,696人から、南関町に対して、町が雇用促進住宅を取得して存続してほしい旨の要望書も提出されている。



Yoshio Karasugi

8番議員
唐杉純夫

中学の学力レベル 都市最低と聞いたが…

私は分かりません

橋本孝道 教育長

唐杉純夫 議員

教育を開かれたものに



南関中学校

①住民に信頼される行政スタイル
Q 南関町総合振興計画に基づく住民懇談会の実施、住民に1層信頼される行政スタイルの構築をどう考えるか。
A 副町長 行政の課題としては自立を要請される行政の新しい環境条件が生まれつつあり、行政の存在価値を再検討し、住民本位の行政のあり方について明確にする必要がある。そのため、住民のニーズを的確に把握できる行政の仕組みが必要になる。住民との交流を重要視し、政策の形成、実施、評価過程に住民が参加できる仕組み、協働のまちづくりを行うことこ

②中学生の学力向上
Q 本町の中学校の学力レベルについて12月14日午後、本町の学校教育専門指導員が保護者に対して学力向上対策についての講演を行っていった。その中で南関中学生の学力レベルは玉名都市17校の中で最低で、それも16番目と17番目との間はかなり開いた最低であるというようなことをパワーポイントを使って説明されたそうだが、教育長は知っているか。
A 副町長 今後の行政活動は住民本位で行われるべきで、情報公開の積極的な推進を優先する必要がある。議会日より「山郷」により、一般質問の要約が掲載され、一定の評価が得られていると聞いているが、一般質問の全文を紹介することは紙面の都合でできない。議会活動の透明性を高め、住民からのフィードバックを受けることで信頼

関係の構築が期待できることから、インターネット上で会議録を全文掲載する必要性もあろうと私自身感じている。
Q 本町の中学校の学力レベルについて12月14日午後、本町の学校教育専門指導員が保護者に対して学力向上対策についての講演を行っていった。その中で南関中学生の学力レベルは玉名都市17校の中で最低で、それも16番目と17番目との間はかなり開いた最低であるというようなことをパワーポイントを使って説明されたそうだが、教育長は知っているか。
A 副町長 今後の行政活動は住民本位で行われるべきで、情報公開の積極的な推進を優先する必要がある。議会日より「山郷」により、一般質問の要約が掲載され、一定の評価が得られていると聞いているが、一般質問の全文を紹介することは紙面の都合でできない。議会活動の透明性を高め、住民からのフィードバックを受けることで信頼

教育長はそういうデータをとどこから持ってきたか知らない。見たこともない。
Q それは19年4月に行われた県下一斉の学力テストの結果、ちよつと説明を求めたい。
A 教育長は一番下とかそういうことは知らない。何もそういう資料は分からない。
Q 私はこの発言は学校教育専門指導員という肩書きの方が、保護者に対して南関中学の学力の実態を知らせる意味では極めて当然の説明だったと思う。そういう意味で私は逆に大変評価している。私はずっと前からこの事実関係は情報としてつかんでおり、それを今回教育長に質問したわけ。この学校教育専門指導員の説明と教育長の説明は違っているが、どう思うか。
A 教育長私はそのところは知らない。分からない。知らないで済むのか。私

Q がなぜこの学力問題にこだわっているのかということ、ちよつと話す。今、南関町に新しい企業がどんどんきて



Kiyokazu Suzuki

11番議員・副議長
鈴木清一

中学校の通学路 いつになったら改善するか

鈴木清一 議員

通学路の現況、区長などに 説明し理解を得たい

上田数吉 町長



ティエフオー一樹熊本工場の作業風景

①労働生産人口の現況
Q 平成19年3月31日の町の生産人口はどのくらいか。町にはどのくらい生産人口が必要か。また生産人口を多くするための考えはどうか。
A 経済課長 3月末までの生産人口は6,383人で総人口の56%になっている。生産人口を多くする考えについては、本町の持った地理的条件や社会的経済基盤等を活用した新たな視点に立った定住対策を関係課一体となって推進することが重要であると考えている。

②現時点での休耕田、休耕畑
Q 町にはどのくらいの休耕田や休耕畑があるのか。
A 経済課長 休耕田は転作という部分で分かるが、休耕畑については正確に把握ができていない。高齢化、労働力不足、農産物価格の低迷などで年々休耕畑は増加の一途をたどっているところ。
Q 今年は初めて酒造会社と話をし、契約をしてから羊を買ってもらった。大きいもの小さいものまで買ってもらうので、一反当たり2.5〜3万はある。1.80円だった。から羊生産は高齢者でもできる。行政、JAも協力してもらいたい。
Q 中学校の通学路
Q 通学路の件は何回もなく質問しているが、まだそのまま。何のために新しく通学路を作ったのか。新しい道路ができたらくボタ前からは通らないということだったはず。

教育長クボタ前から通らないというところだったという担当から聞いたが、そのとおりだが、あそこはスタンドの前から高速道路の下のところだが、非常に狭くてダンブも朝は多いので、クボタの前から通学路を通してもらっている。
Q スタンドの前は今狭くなったのではなくて新しい通学路を作るときから狭かったはず。10年過ぎたが、今まで県に話をしたことはあるか。
A 建設課長 県に話をしたことはない。
A 町長 区長さんに現況を説明しながら当面協力をお願いしていきたい。



県道443号の危険とされる箇所

Q 地元の人たちには通らないと約束をして土地も相談した。今のまま通るのであれば地元の人たちと話し合いをして悪い部分は直すべきで、なるべく早い対応を求めたい。

Q 地元の人たちには通らないと約束をして土地も相談した。今のまま通るのであれば地元の人たちと話し合いをして悪い部分は直すべきで、なるべく早い対応を求めたい。

変わりつつある教育

学校2学期制度で和木町

昨年11月16日に総務文教常任委員会(委員長・唐杉純夫)は、2学期制度調査のために和木町教育委員会に行き説明を受けました。

2学期制とは従来1年間3学期を前期と後期の2学期に分けて教育活動を行うようにすることです。玉名郡市においては19年4月に初めて菊水中学校で試行されました。

2学期制の利点は①始

よりよい議会広報「山郷」を

町研修で特別委が提案も

よりよい議会広報紙づくりに取り組むため広報調査特別委員会(委員長・島崎英樹)の5人は研修会等に参加をしています。昨年の11月6日には熊本県町村議会議長会主催の研修会に出席し、新聞記者や県内の議会編集長らと意見を交換。

住民と議会をつなぐ広報の重要性を再確認するとともに、具体的な編集技術を学びました。

この日は会場の県自治会館に150人ほどが集まり、熊本日新聞社編集局NIE推進室長の越地真一郎さんが「新聞で磨こう議員力」

時間数が増えるのかについては、年間約30時間、日数にして約5日間となります。

また、文部科学省は自身の打ち出した「ゆとり教育」の失敗を認めた上での授業時間数10%アップを目指す方針は、この2学期制では解決されないことは確かです。なぜなら、従来の3学期制で

研修視察に行ってきました

と題して話をされました。越地さんは「議員力とは熱い思い(志、ヴィジョン)とそれを伝える表現力で決まる」と話され、出席者にエールを送られました。

引き続き、パネルディスカッションがあり、南関町議会からも広報活動活性化のための提案をするなどして、出席者とともに議論をしました。

正副議長などは2年で交代

宮崎県南郷町

議会運営委員会(委員長・野田健男)は11月13日、宮崎県南郷町を視察しました。目的は議会運営や議会活性化について考えるためです。南郷町の当初予算額は41億3,400万円。議会運営の



特色としては、議長、副議長、常任委員長、議会運営委員長の任期を、議会の申し合わせにより2年間とするということでした。また、予算の審議、決算の審査は、特別委員会を設置して審議されていました。また、議会だよりの編集は20年程度前から任意で作成されていました。また、本年度から編集特別委員会を設置して4人の委員で活動されているそうでした。

引き継ぎの準備支障なく

保育園民営化で四保に



産業厚生常任委員会(委員長・橋本義治)は12月5日、委員6人全員で、平成20年4月から民営化する南関第四保育園を視察しました。民営化に向け、引き継ぎ保育の期間中というところで、現状の取り

うから館

あれから
どう
なった!?

指定管理者に津留建設

4月から「うから館」が新体制



改装を予定している見聞のうから館内部



うから館の平成20年4月1日からの新たな指定管理者に津留建設(株)を12月定例会で南関町の公の施設にかかる指定管理者の手続き等に関する条例第7条により議決しました。指定管理者制度は地方自治法の改正により民間活力を導入することで、



南関高校の廃校問題に対応するため、町は同校で学ぶ生徒の就学費用の一部を補助することを検討中であると、このほど議会に報告・説明し意見を求めました。

これは南関高等学校就学費用の一部を補助する条例(案)で、生徒の保護者の経済的負担を軽減することで同校への就学を奨励し、地域の発展に貢

行政監視と情報公開へ

議長の一言



議会だより「山郷」が発足して2年になります。5人の新人議員が協力してスタートしたわけですが、

大事な仕事に行政監視と情報公開があります。難しいのは情報公開です。例えば議会内のことでも原則すべて公開でありますが、議員同士の信頼関係がしっかりしていることが大事です。

南高生増加に補助金検討へ

南関高校の廃校問題に対応するため、町は同校で学ぶ生徒の就学費用の一部を補助することを検討中であると、このほど議会に報告・説明し意見を求めました。

前期選抜の出願が締め切られていることから、中学生の保護者らの意見を聞いた上で結論を出すこととしました。

議会日誌

主なものを載せています

- 12月 産業厚生常任委員会 12/5
 総務文教常任委員会・全員協議会・議会運営委員会 12/7
- 1月 総務文教常任委員会 1/15
 議会全員協議会・民営化問題調査特別委員会 1/16
- 2月 全員協議会 2/15

次回の定例会は3月開催されます。

名古屋からのレター

「故郷の山に向かいていう事なし、ふるさと山は、ありがたきかな」
 昭和42年、南関を離れ早いもので3回目の成人式を迎えました。私の通った南関高校は当時一学年5クラス、夜間学生も含め600人位が学んでいました。昨今、併合・廃校なんて寂しい話しも聞かれます、少子高齢化の波でしょうね。私も名古屋にいますから離れていてなんの力にもなれませんが、ふるさとを守ってくれる方々に、ただただ今後の活性化をお願いするだけです。他町においては企業誘致・開発など町おこしにあれこれアイデアを募り、もう一度昔の活気を取り戻そうと努力をしているところもあります。「どぎゃんかして」あの当時の南関町の商店街、近隣の賑やかな姿、再び見たいものです。南関町議会そしてふるさとに愛を感じている方々、活気ある町にどうぞお願いします。ふるさと万歳！

名古屋市 伊東良典さん (59歳)

普段の生活では議会のことはよく分からなかった。しかし山郷が発行されるようになって関心が出てきた。企業誘致や農業再生などにしっかり取り組んで、難しい面もあるだろうが、若い人からお年寄りが希望を持って安心して暮らせる町にしてほしい。ずっと暮らしていたくなるような町になることが願いだ。

四ツ原柿原 浦原久生さん (32歳)

ご意見箱

山郷は大変見やすく、議会の活動が分かりやすく書いてあるので、議会を身近に感じています。

最近、地球温暖化や食品偽装、原油高騰などが問題になる中“地産地消”が見直されていると思います。そこで、学校の給食等の食材を町内の生産者から積極的に取り入れたらいかがでしょうか？幸いにも南関町は美味しいお米や野菜など作られている生産者が大勢おられますので、町と生産者と食事の献立を考えている方が協力して地元の食材をふんだんに取り入れてほしい。生産者は食べる人たちのために安全に作り、子どもたちは美味しく食べ、保護者は安心すると思う。その中で子どもたちに好評な献立は町民に広めてほしい。そして町の人には広報を見て作って食べる。そうしたら農業も盛り上がる！

関町 能津裕規さん (32歳)



山郷は町の財政が一望できるなど大変分かりやすく、議員の皆さんの一生懸命さが紙面を通して伝わってきます。視察や研修報告をぜひ南関町に生かしてほしいものです。少子高齢化になって安心、安全な町づくりをお願いします。災害はいつ起こるか分かりません。この時、子どもやお年寄りはどうのように行動すればいいのでしょうか。また地域の活性化をお願いします。そして婦人会では会員を募集しています。

関村 田中喜代子さん

ティーンズブレイン

編集後記

これまで議会や山郷についてたくさんのご意見をいただきました、ありがとうございます。叱咤激励の中で、私たちは町民の方と情報を共有することの大切さを感じています。山郷が皆さんと議会の架け橋になるよう今後も努力していきますので、新年度もよろしくお願いたします。

(広報調査特別委員会委員一同)

こちら広報特別委

お気付きの方も
 おられると思いま
 す。今号から、説
 みやすい山郷へ向
 けて一部を改善し
 ました。



編集 (広報調査特別委員会)

委員長	島崎英樹
副委員長	橋永芳政
委員	酒見純
委員	山口純
委員	大木幹夫
発行責任者	下川正見